



特集

「地域おこし協力隊と議会」

地域おこし協力隊の活動をご存じでしょうか。当市には5名の協力隊があり、各々特色ある仕事をされています。今回は市協力隊の皆さんにお集まりいただき、活動に対する想いや議会への期待を伺いました。



なりたくみこ
成田久美子 さん

出身 むつ市
経歴 名古屋市で
ヨガインス
トラクター



なりた くにほる
成田 邦治 さん

出身 愛知県
名古屋市
経歴 名古屋市で
会社員



みやたまりこ
宮田真梨子 さん

出身 東京都
羽村市
経歴 横浜市で
会社員



おだがわかこ
小田川貴子 さん

出身 つがる市
(旧柏村)
経歴 東京都で
テレビ関係
会社員



うえひがし けんた
上東 健太 さん

出身 大阪府
河内長野市
経歴 芸人(漫才・
ツッコミ担
当)

《地域おこし協力隊紹介》
地域おこし協力隊とは、都市部から人口減少や高齢化が進行する地域に移住し、地域ブランド振興や農林水産業への従事、住民支援などの「地域協力活動」を行いながら、その地域への定住・定着を図る制度です。

《地域おこし協力隊に応募したきっかけは？》
※記事中最敬称略

上東 芸人を辞めてまったく違う生活をしてみたいと思ったので、寒さの厳しいつがる市に来ました。

小田川 テレビ関係の仕事をしてきたので、その経験を地元のために活かせたらなという思いからUターンしました。

宮田 大学生時代に市の移住体験ツアーに参加したのがきっかけです。その後も何度か訪れるうちにやっぱり良い所だと思ったので、思い切って移住しました。

成田(邦) 妻(久美子)の実家がむつ市なので青森に来る機会があり、美しい田園風景に感動して米農家を目指すようになりました。県内のいくつかの自治体に相談したところ、つがる市で地元農家の方を紹介していただきました。

成田(久) 夫(邦治)と一緒に農業を勉強してきました。青森で農家になりたいという夫の気持ちには特に反対はしなかったですね。

《主な業務は？》

上東 観光・ブランド戦略課に所属していて、イベント関係の仕事をしています。夏はイベントがたくさんあるので忙しいですね。

小田川 主に空き家バンク関係の業務を行っています。その他にもSNSを通じたPR活動や、協力隊のメンバーでわがまちCM大賞に応募して、大賞に選ばれました。

宮田 私は移住支援の仕事をしています。

移住体験ツアーの企画・実施や、関係人口（移住者や観光客以外で地域と多様に関わる人々のこと）へのメルマガ配信などをしていきます。

成田(邦) 就農研修生として活動しているので、農作業をしながら様々な作物を育てる勉強をしています。今はブロッコリーの収穫時期で、朝6時から作業しています。
成田(久) 私も同じく農作業をしています。その傍ら、オンラインの教室で3カインストラクターも続けています。

《活動している中で印象的だったことや、仕事の魅力を感じたことは?》

上東 市民の力になっていっているのが目に見えた時に魅力を感じますね。冬のイベントの際に雪灯籠を企画したところ、見に来ていただいた皆さんがとても喜んでくれたんです。その様子を見たときは嬉しかったです。
小田川 自分が子どもの頃に比べて空き家が多くなっている印象を受けました。そういった中で空き家バンクの家に新しい住人が決まるときは嬉しいですね。他にも情報発信をするための取材では、自分でも知らなかった地元の魅力に気づく楽しさがあります。

宮田 自分が好きな市の魅力を市外の方に伝えられることがやりがいです。私のように都会から20代女性が移住するのは珍しいので、地元の方に不思議に思われるのですが、外からの違った視点で気が付く良い所が沢山あるんです。それをこれからも発信していけたらと思います。

成田(邦) 今年の5月に着任したばかりなのですが、印象的だったのは最初の1ヶ

月毎日筋肉痛だったことですね。慣れない農業で分からないことばかりですが、少しずつ任せてもらえる仕事も増えてきました。米農家の夢に近づいていることを嬉しく思います。

成田(久) こういった取材を受けると、記事を見てくれた市民に認知してもらえて声を掛けてもらえるのが嬉しいです。個人のSNSで活動のことを紹介しているのですが、都会に住む友人が興味を持ってくれるのも嬉しいですね。

《着任する前と現在で気持ちの変化を感じたことや驚いたことは?》

上東 最初は「自分が変えるんだ!」という前のめりな気持ちだったのが、今では「主役はあくまでも市民の皆さんで、協力隊としてサポートしていきたい。」と思うようになりました。

成田(邦) 私は今まさに前のめりな時期です。このまちにはまだまだポテンシャルがあると思っているのですが、市民の皆さんにも諦めないで!と言いたい。驚いたことは想像以上の忙しさですね。

宮田 移住者と地元民の「つがる市好き」のギャップを感じました。特に地元に残っている若者は「仕方ないから」という人が多い。意識を変えていけたらいいですね。



《議会や議員のイメージは?》

上東 祭などのイベントに議員の方々から来てくれるのでよく関わります。関わる前は堅くて怖いイメージがあったのですが、実際に接してみると皆さん気さくで話しやすい方ばかりです。

小田川 仕事をしていく中で、市外の議員の方とは関わったことがあるのですが、議員以外の仕事と両立をされている方はとても忙しそうなお印象があります。

宮田 地元の羽村市にいた頃の話ですが、小学生の時のキックベースのコーチが議員の方だったので、そういった地域活動もされているんだと親しみを感じました。協力隊になってからは、予算を審査してもらう場というイメージが大きいですね。

小田川 確かに、自分たちの活動に使う算は議会を通さないといけないので、使用目的の説明資料を作っています。

宮田 定例会の前は頑張って予算の資料を作っています。

成田(邦) 正直これまで関わったことがなかったのですが、前回の議会だよりを見てこんな風に税金の使い道を決めているんだと思えました。

《今後、市や議会に対して期待していることは?》

成田(邦) 木造駅前を盛り上げてほしいです!地域の方と触れ合いたいののでよく駅前に食事をしに行くのですが、とにかく若者がいませぬね。20代と会ったのは一度だけです。

成田(久) 私も一緒に食事に行くのです

が、確かに若者がいないなという印象です。

成田(邦) 空き家や空き店舗もあるので、若者が気軽に飲みに行けるようなお店や駅前づくりを期待しています。

宮田 私も同意見です。仕事で木造

高校の生徒たちと話す機会があるのですが、皆さん市に対して柔軟な発想を持っている、良いまちなしたいという意欲があるんですね。ただ、その発想を活かす機会になかなか繋がらないのが現状です。議員の皆さんと高校生たちが一緒になって盛り上げていく場ができるといいなと思います。

小田川 外から移住してきてくれるのももちろんありがたいことで、どんどん来てほしいのですが、ここで生まれ育った方が離れたくないと思うようなまちづくりも重要なかなと思います。そのためにも、働く場や制度の充実を期待したいです。

上東 私は観光に関わる部署にいます。世界遺産の施設づくりに大きく期待しています。教育委員会と観光分野の連携をしっかりとって良いものにしていきたいと思っています。



《つがる市地域おこし協力隊SNS》

Instagram



Twitter

